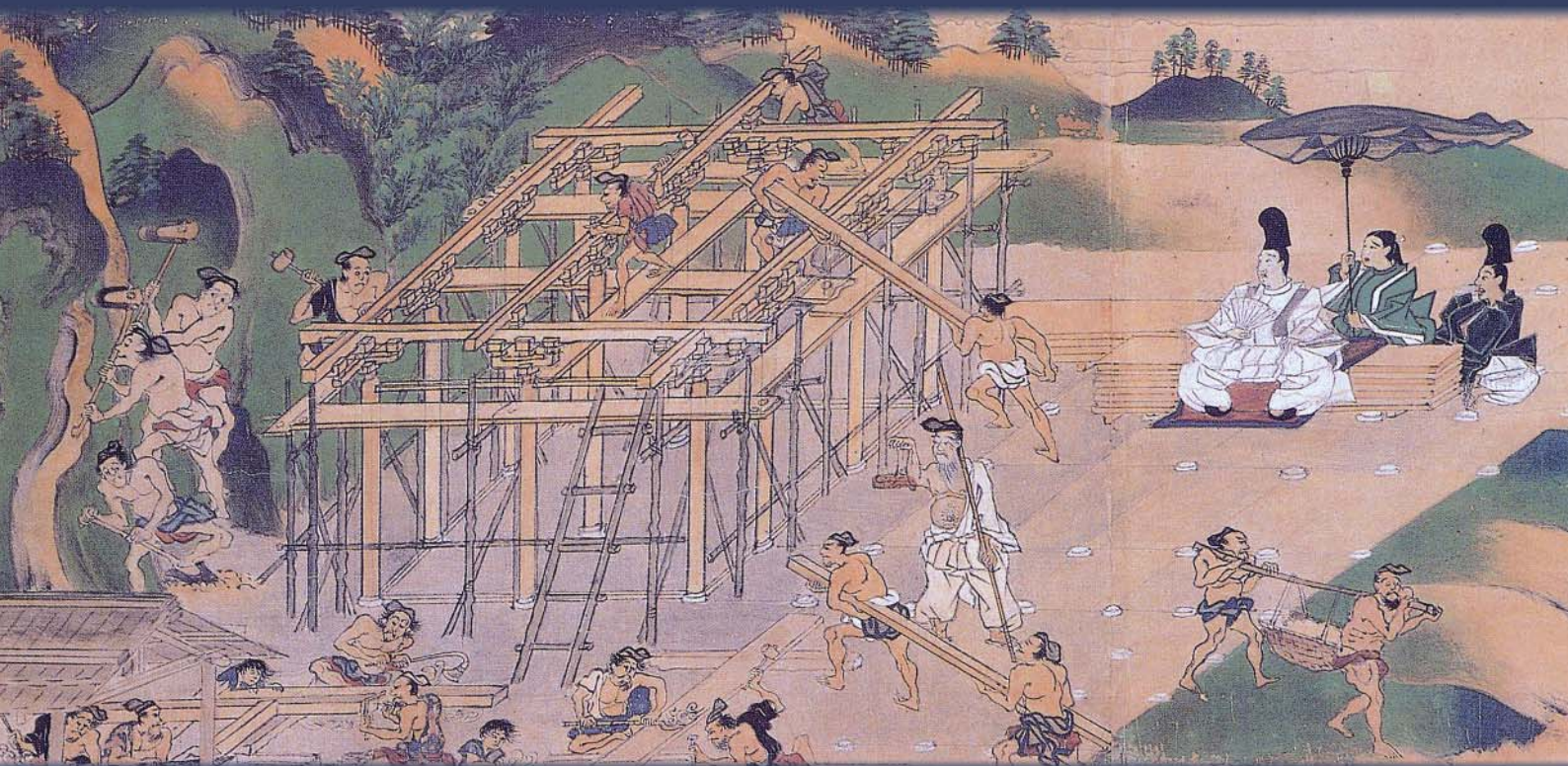


文化財建造物の保存修理を考える

第3回シンポジウム 木造建造物保存修理技術の特色



松崎天神縁起 (1311) 防府天満宮所蔵 (『失われゆく番匠の道具と儀式』(国立歴史民俗博物館、1996)より)

2015年11月14日(土) 10:00~17:00 (開場 9:30)
東京国際交流館プラザ平成 (東京都江東区青海 2-2-1 右下地図参照)

定員 300名
(要・参加申込み)

日本における文化財建造物の保存修理について、歴史を検証し、現状を把握して、その理念とあり方を検討する。あわせて、海外の状況も勘案し、保存修理をとらえて見た日本建築の特質を考える。

主催

・公益財団法人

文化財建造物保存技術協会

www.bunkenkyo.or.jp

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里 2-32-15

☎ 03-6458-3614

・文化財建造物保存修理研究会

www.hozon-syuri-kenyukai.jp

後援・文化庁

協力・独立行政法人 日本学生支援機構

発表

- ①「日本古来の建造物保存」
濱島正士 (文建協顧問)
- ②「保存修理と復原」
村田健一 (東京工業大学連携教授)
- ③「保存修理技術の継承」
平井俊行 (京都府文化スポーツ部
文化政策課文化財・資料保全担当
課長)
- ④「東アジアにおける木造建造物の保存修理」
西川英佑 (文化庁文化財部参事官文化財調査官)
- ⑤「イコモス木の委員会の『歴史的建造物の保存のための原則』」
益田兼房 (日本イコモス国内委員会
理事)

討議

「木造建造物保存修理の方法と課題」

司会・進行 濱島正士

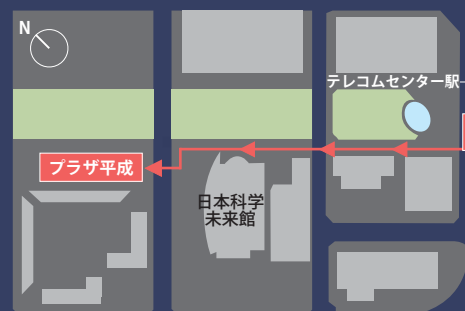
村田健一、平井俊行、西川英佑、益田兼房、マルティネス・アレハンドロ (東京大学大学院)

お申し込み

募集対象：文化財建造物修理技術者、文化財建造物保存修理に係わる設計監理者・施工者、文化財保存行政担当者、選定保存技術保持者等、関連分野の研究者・学生など
ホームページ上の申込フォームでご応募ください (10月23日<金>必着)
(先着順/住所・氏名・所属・電話番号を明記)

参加費 (資料代)

- ・一般参加者 1000円 (学生 500円)
- ・研究会会員 500円 (学生会員 無料)



ゆりかもめ「テレコムセンター駅」北口より徒歩6分